

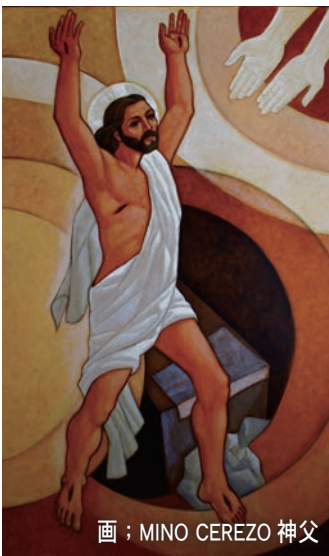


ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

4月の意向

【教皇の意向】新しいテクノロジーの使用
【日本の教会】新生活を始める人々たち

「この上なく愛し抜かれた」(ヨハネ13・1)
聖週間の典礼をより深く味わうために
ヨゼフ・アベイヤ司教(福岡教区長)



画：MINO CEREZO 神父

「さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた」(ヨハネ13・1)。この言葉は、最後の晩餐とイエスの受難、死、復活の記録を理解するための基本です。「この上なく愛し抜かれた」という言葉。聖週間の典礼を通して、この神秘を皆さんに深く味わっていただきたいと思います。

父の愛を感じ取った人々と心を一つにして「ホザンナ」と歌います。そして、言葉の典礼で主の受難の記録が読まれます。神の国の実現のためにすべてを捧げるイエスの姿を見つめながら、「この上なく愛し抜かれた」言葉の深い意味を味わいます。

聖金曜日にイエスの受難と死を思い起こす
ここでは、ヨハネの福音書で伝えられているイエスの受難と死の記録が読まれます。そして十字架を礼拝します。義となる者を死刑にしよう「この世の罪」を担ったイエスは、罪のしがらみから人類を解放し、すべての人々に

復活徹夜祭で主の復活を祝う
「父よ、わたしの霊を御手に委ねます」と言いながら息を引き取られたイエスは、御父に迎えられたのです。父の示された道を歩む者は、闇ではなく光へ、死ではなく永遠のいのちへ向かって歩んでいきます。イエスの復活はそれを示しています。復活徹夜祭の典礼に参加して、この喜びを心の中で味わいます。イエスに結ばれて歩んでいきたい望みが深まります。世界はこの光を必要としています。この望みを深く感じた人は、復活徹夜祭の中で、この道を歩む恵みをいただくのです。入信の秘跡(洗礼、堅信、ご聖体)を受ける兄弟姉妹を温かく迎えます。

枝の主日の典礼の中でイエスは、新しい掟を与えます。「互いに愛し合いなさい。わたしがあたがたを愛したように」(ヨハネ13・34)。場面はイエスが「引き渡される」

聖木曜日に最後の晩餐を思い起こす
弟子たちの足を洗ったイエスは、新しい掟を与えます。「互いに愛し合いなさい。わたしがあたがたを愛したように」(ヨハネ13・34)。場面はイエスが「引き渡される」

聖金曜日にイエスの受難と死を思い起こす
ここでは、ヨハネの福音書で伝えられているイエスの受難と死の記録が読まれます。そして十字架を礼拝します。義となる者を死刑にしよう「この世の罪」を担ったイエスは、罪のしがらみから人類を解放し、すべての人々に

復活徹夜祭で主の復活を祝う
「父よ、わたしの霊を御手に委ねます」と言いながら息を引き取られたイエスは、御父に迎えられたのです。父の示された道を歩む者は、闇ではなく光へ、死ではなく永遠のいのちへ向かって歩んでいきます。イエスの復活はそれを示しています。復活徹夜祭の典礼に参加して、この喜びを心の中で味わいます。イエスに結ばれて歩んでいきたい望みが深まります。世界はこの光を必要としています。この望みを深く感じた人は、復活徹夜祭の中で、この道を歩む恵みをいただくのです。入信の秘跡(洗礼、堅信、ご聖体)を受ける兄弟姉妹を温かく迎えます。

枝の主日から始まる聖週間
枝の主日の典礼の中でイエスは、新しい掟を与えます。「互いに愛し合いなさい。わたしがあたがたを愛したように」(ヨハネ13・34)。場面はイエスが「引き渡される」

聖木曜日に最後の晩餐を思い起こす
弟子たちの足を洗ったイエスは、新しい掟を与えます。「互いに愛し合いなさい。わたしがあたがたを愛したように」(ヨハネ13・34)。場面はイエスが「引き渡される」

聖金曜日にイエスの受難と死を思い起こす
ここでは、ヨハネの福音書で伝えられているイエスの受難と死の記録が読まれます。そして十字架を礼拝します。義となる者を死刑にしよう「この世の罪」を担ったイエスは、罪のしがらみから人類を解放し、すべての人々に

復活徹夜祭で主の復活を祝う
「父よ、わたしの霊を御手に委ねます」と言いながら息を引き取られたイエスは、御父に迎えられたのです。父の示された道を歩む者は、闇ではなく光へ、死ではなく永遠のいのちへ向かって歩んでいきます。イエスの復活はそれを示しています。復活徹夜祭の典礼に参加して、この喜びを心の中で味わいます。イエスに結ばれて歩んでいきたい望みが深まります。世界はこの光を必要としています。この望みを深く感じた人は、復活徹夜祭の中で、この道を歩む恵みをいただくのです。入信の秘跡(洗礼、堅信、ご聖体)を受ける兄弟姉妹を温かく迎えます。

主のご復活
おめでとうございます
私は復活しあなたと共にいる。
ライブ配信のお知らせ
【聖香油ミサ】
4月16日(水) 15時～
【復活祭】
4月20日(日) 9時30分～
場所：カテドラル大名町教会
司式：ヨゼフ・アベイヤ司教(福岡教区長)

WYD(ワールドユースデー)ソウル2027
大会の十字架およびイコンの日本国内巡回
WYDのシンボルである救いの十字架と聖マリアのイコンが日本に到着し、記念ミサが行われます。
日時：4月29日(火・祝) 13時30分～
場所：旧カトリック神学院
ミサ主司式：中村倫明大司教(長崎大司教区)
※ライブ配信有り。
詳細は右記QRコードから確認ください。

4月13日(日) 献堂記念日
司教座聖堂(カテドラル)大名町教会
教区司教が典礼を司式するときに座る椅子を司教座(カテドラ)と言い、その司教座がおかれた教会堂を司教座聖堂と言います。現聖堂は1986年4月13日に献堂されました。
今年は4月13日(日)が「カテドラル特別献金日」です。福岡教区の宣教活動の要であるカテドラルの維持管理のための献金をお願いいたします。

熊本地震から9年
2016年4月14日、16日に熊本・大分地方を襲った地震から9年が経ちます。今もお悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られる方のために祈りましょう。また、多くの支援、繋がりを心より感謝いたします。
(福岡教区災害被災者支援室)

ミッシェンスクールでの学生生活は、私にとって大きな学びの場であり、成長の時であった。知識を深めることはもちろん、人間としての価値観や生き方について多くを学んだ。互いに助け合う大切さを学んだ。学校の仲間たちと勉強や行事を共にし、また祈りや励まし合う時間を持つ中で絆を深め、友情を育むことができた。このような経験は、私の人間関係や社会性を大いに豊かにしてくれた。大学進学にあたり、私は新たな学びの場であると同時に、成長の新しい節目を迎えたと感じている。これまでの学生生活を通じて得た知識や経験をさらに深

第三回 司祭評議会
3月11日(火) 司教館(福岡市中央区浄水通)において、第三回司祭評議会が開かれた。議事内容は以下の通り。
【一】教区創立100周年についての各委員会報告
①典礼委員会 巡礼指定教会などで捧げるために用いられる「聖年のためのミサ」の紹介をした。
②広報委員会 各小教区を紹介するためのビデオ作成の準備を行っている。
③記念誌委員会 全体を200頁程度とし、各項目の内容と分量等の検討を行っている。8月までに原稿を締め切る。
④行事部委員会 戦国時代を生きた女性細川ガラシャの生涯をオルガン演奏と語り手によるオペラ形式で公演する。公演地、日時については検討中。このための事前バザー、コンサートも計画中。その他、各地区の殉教者の紹介パンフ

め、専門的な学問を追求したいと考えている。大学では、より広い視野を持ち、社会で役立つスキルを身につけることが目標である。また、信仰を大切にしつつ、どのようにして社会貢献ができるかを考え、行動することを心がけたい。これからの大学生活は、さまざまな挑戦と機会に満ちている。自分の信念を持ちながら、他者とのつながりを大切にし、成長していきたい。ミッシェンスクールで学んだことを胸に、新しい環境での学びに前向きに取り組む、社会に貢献できる人間へと成長していくことを望んでいる。
大牟田教会 清家菜那

プレレン制度について
幼児教育等を通して青少年の教育について注力してきたが、司祭は減少する一方、幼稚園の園長に求められることが高度になり、小教区主任司祭兼任では対応が難しくなっている。宣教司牧に専心するために、幼稚園との関わりをチャプレレン(宗教教育専任者)制に移行するよう考えていると司教より提案がなされ、意見を求められた。
【V. その他、マルセル神父の離任の挨拶】
「パリ外国宣教会は、140年間、福岡教区に宣教師を派遣してきましたが、私の帰国によっていなくなりました。JOC(カトリック青年労働者連盟)、九州ダルク(薬物依存症者及びその家族に対して、包括的に回復及び社会復帰を支援)、難民移住移動者への寄り添いなどさまざまな宣教司牧活動に関わることができて幸せでした」と挨拶した。今後はフランスのプロバンスで生活することになっている。日本における50年にも及ぶ宣教司牧生活に心から感謝の意を表したい。頑張りましょう。(U)

頑張りましょう。(U)

卒業の日に
教会での礼拝や信仰生活は、私の信仰を育む重要な要素となった。日々の礼拝や祈りを通して、神とのつながりを感じ、心の平安や力を得ることができた。このような精神的な支えがこれだけしかありません。この喜びが皆さんの歩みを照らすように祈ります。
ヨゼフ・アベイヤ

先日、散歩の折にある農作業が目にとまりました。それは芽生えて間もない苗を大きなローラーを付けた農業機械が押しつぶしていくものでした。その作業について尋ねると「麦踏み」とのことでした。しかもこの作業は、何度も繰り返されるそうです。確かに、幼い頃の記憶の中に両親が一月の寒風に晒されながら、足で麦踏みをしていく姿があります。芽が出たばかりの時期に何度も踏みつぶす作業は、若い苗にとって酷なことのように見えますが、踏まれるほどに生育が良くなると聞き不思議に思ったものです。▼進学・就職のために故郷を離れ新たな土地での生活を控えている若者も多いことでしょう。私たちは経験がないことについては不安を感じるものです。見知らぬ土地で、慣れない仕事と学業、さらに新しい友との出会いに不安を抱えてこの時期を過ごしていることでしょうか。▼蝶は、成虫に成長する過程で幼虫と成虫の間に堅い殻に身を包むサナギの時期があります。蝶が美しいその姿を手にするためには、それまで外敵から身を守っていた堅い殻を破り脱皮しなければなりません。恐らく脱皮のためには大きな力が必要とされるでしょう。途中で力尽きてその生涯を終えたサナギを目にするのも少なくありません。▼これから数え切れない失敗と挫折が若者を待ち構えていることでしょうか。失敗や挫折は、私たちの心を砕き、失意のどん底に落とし込みます。しかしそれは、同時に私たちが大きく成長するための力にもなります。麦は、踏まれてたくましく成長します。頑張りましょう。(U)

◆ 福岡教区創立 100 周年に向けて ◆



2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。これを受け、教区報では、各小教区や団体が100周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。

「創立100周年」の情報は右記QRコードからご覧になれます。

巡礼指定教会の取り組み
2. 島崎教会

珍しい円盤型の建物が島崎教会

福岡教区100周年の恵みは、教区の建設者であった福音宣教者たちの熱意を再発見するよう私たちに促しています。福音から再出発し共同体の信仰生活を新たにするための祈りと回心の3年間です。2025年の聖年は「希望」の名のもとに、この刷新に取り組む特別な機会です。神との新たな出会いを目指す旅は、教区創立100周年に向けた3年間と聖年の巡礼によって、神の憐れみの源へ向かう心が現れるのです。私たちの司教が、信仰の刷新の恵みを得るために、巡礼地として八つの教会を指定したのはこのためです。幼きイエスの聖テレーズに捧げられた島崎教会が、信仰の刷新の恵みを得るために、巡礼地として八つの教会を指定したのはこのためです。

「希望の巡礼者たちよ、島崎教会へ大歓迎！」教会はいつでも開いています。団体巡礼は事前に時間などをお知らせください。島崎教会 主任 A. トゥルコ神父

2月16日(日) 第5回福岡教区創立100周年委員会の集まりがありました。まずは、委員会のメンバーで「創立100周年のための祈り」の初めの言葉である「天の父よ」と唱え、今日も私たちが慈しみ、必要な糧を与え続ける全知全能の父の愛の手に包まれていることを黙想しながら祈りが始まりました。

それぞれの五つの委員会のメンバーは教区民の思いを浮かべながら、この場に派遣されています。また、宣教師の方針の第二の柱である「互いに支え合う『交わりの教会』」について、意見交換が行われました。



大名町教会に掲げられた横断幕

報告事項として、巡礼記念スタンプノート、横断幕、100周年のための折りカードの増版等について意見交換が行われました。審議事項では、各五つの委員会による活動状況と100周年記念誌編集の方針の提案について、さらに行事委員会が検討している各種行事の計画についての方針と対応について、意見交換が行われました。



中井神父(手前)

2月9日(日) 大名町教会の主日のミサ後、中井淳神父(イエズス会)による社会宣教説が行われ、約100人が参加した。

社会福音化委員会 正義と平和・人権部門
社会宣教説に学ぶ カトリック教会の教えとは

ということを心に留め会議に臨み、教区の皆様方の祈りに支えられています。

天の父よ、あなたの愛にとどまりながら、聖霊に導かれて福音の光をともしていただくことができますように私たちに見守ってください。教区民の皆様方と共に、2027年に迎える教区創立100周年に向けて歩みを深めていくことができますように。

報告 Sr.金公女(幼きイエス会)

福岡教区人事異動

(一) 内は現任地、順不同

小教区

【2025年3月1日付】

鄭元喆(ジョン・ウォン) 師(大名町教会助任、韓国テグ教区)

戸畑・若松教会主任

【2025年4月21日付】

レナト・フィリピーニ 師(大濠カトリック教会館責任者)

糸島・茶山教会主任、大濠教会館責任者

リナム・オドヘティ 師(聖アウグスチノ修道会)

笹丘教会主任

田中重治 師(小郡・鳥栖教会主任)

大名町教会主任

【2025年9月1日付】

船津亮太 師(ローマ留学中)

光丘教会主任(9月1日から)

【2025年5月】

マルセル・コース 師(美野島司牧センター長、パリ外国宣教会)

パリ外国宣教会本部(フランス)へ

大濠カトリック会館 宣教養成センター
この1年の利用に感謝

静閑な2階チャペルの聖櫃

大濠カトリック会館・宣教養成センターについて「場所が分からない」「(実は大濠公園の南門からわずか1分)」「不便だ」「(実は「大濠公園」バス停から徒歩5分で、このバス停には五つのバスルートからアクセスできます)」といった「フエイクニュース」のような噂を聞いているなら、ぜひ自分で確かめてください。「百聞は一見に如かず」。大濠カトリック会館内に宣教養成センターが開設されてから3年目に入りました。23年度と24年度を合わせて「使用者数」は4000人を突破し、「宿泊の使用数」は182人でした。昨年度の新たな企画として待降節と四旬節の間、週1回の午前中、個人聖体礼拝「主をみつめる」が行われました。そして4件の団体黙想会と複数の個人黙想が会館での中心になっていました。黙想会に参加する多くの人にとって、沈黙の時間とその体験は人気があるそうです。事実、静かに過ごしたいなら2階に個室とチャペルがあり、黙想しながら体も動かしたいなら、そばに大濠公園と舞鶴公園があるので散歩もできます。

聖年期間中、「個人黙想」にチャレンジしてみませんか。日常から離れ(数時間から宿泊まで)、聖体の前にとどまり(2階チャペル)、みことばを黙想する(個室)。さらに、4月6日(日)からは、毎週日曜日18時より主日の夕べのミサが行われます。仕事などで午前中のミサに与ることができない時にいかがでしょうか。「来て、見なさい、そうすれば分かる」(ヨハネ1章39節)。

大濠カトリック会館・宣教養成センターのFacebookも覗いてみてください。ほぼ毎週更新しています。

大濠カトリック会館 宣教養成センター 責任者 レナト・フィリピーニ 神父(聖ザベリオ宣教会)

【2025年4月21日付】

竹内英次 師(崎津・大江・本渡教会主任、長崎大司教区)

長崎大司教区へ

マイケル・ヒルデン 師(笹丘教会主任、聖アウグスチノ修道会)

長崎大司教区へ

【2025年5月】

マルセル・コース 師(美野島司牧センター長、パリ外国宣教会)

パリ外国宣教会本部(フランス)へ

【2025年9月1日付】

船津亮太 師(ローマ留学中)

光丘教会主任(9月1日から)

【2025年4月21日付】

中村彰 師(大名町教会館主任)

司祭の家(司教総代理兼任)

ジョンソン・デソーザ 師(カプチン・フランシスコ修道会)

大濠教会主任、美野島司牧センター協力

美野島司牧センター長・大濠教会主任

大西徳明 師

【2025年5月】

マルセル・コース 師(美野島司牧センター長、パリ外国宣教会)

パリ外国宣教会本部(フランス)へ

【2025年9月1日付】

船津亮太 師(ローマ留学中)

光丘教会主任(9月1日から)

【2025年4月21日付】

中村彰 師(大名町教会館主任)

司祭の家(司教総代理兼任)

ジョンソン・デソーザ 師(カプチン・フランシスコ修道会)

大濠教会主任、美野島司牧センター協力

美野島司牧センター長・大濠教会主任

大西徳明 師

【2025年5月】

マルセル・コース 師(美野島司牧センター長、パリ外国宣教会)

パリ外国宣教会本部(フランス)へ

【2025年9月1日付】

船津亮太 師(ローマ留学中)

光丘教会主任(9月1日から)

【2025年4月21日付】

中村彰 師(大名町教会館主任)

司祭の家(司教総代理兼任)

ジョンソン・デソーザ 師(カプチン・フランシスコ修道会)

大濠教会主任、美野島司牧センター協力

美野島司牧センター長・大濠教会主任

大西徳明 師

【2025年5月】

マルセル・コース 師(美野島司牧センター長、パリ外国宣教会)

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

サンパウロ
福岡宣教センター

営業時間:
10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.iruka-japan.com/>

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会③

修道会のロゴ



福岡教区には現在 30 ほどの修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。
一昨春より紹介している、その修道会や宣教会。第 31 回は、マリア布教修道女会です。

マリア布教修道女会

マリア布教修道女会（別称マリアのザベリオ宣教会）は、1895 年にパルマ（イタリア）で聖グイド・マリア・コンフォルティ司教によって設立された聖ザベリオ宣教会の女性部です。1944 年、聖ザベリオ宣教会の宣教師ジャコモ・スパニョーロ神父が、聖グイドの遺志を継ぎ、マードレ・チェレスティーナ・ボッテゴ（列福調査中）の協力を得て本会を創設しました。

マリア布教修道女会は、聖ザベリオ宣教会と同じく「すべての手段、すべての力を宣教に」捧げます。私たちの霊性は、エリザベトを訪問するマリア様の心に倣い「父よ、マリアを通して速やかに御国が来ますように」と祈りながら宣教することです。私たちは制服を定めず、生活の場の感性に沿う「端正な」服装で、すべての人々と率直で友愛に満ちた交流を育みます。

現在、本会は、イタリア、コンゴ、ブルンジ、カメルーン、チャド、ブラジル、メキシコ、アメリカ、タイ、日本で、それぞれの国出身の姉妹たちが一緒に宣教活動しています。日本支部は 1959 年に開設されました。現在、大阪教区（和泉、泉南）、大分教区（宮崎）、福岡教区（真命山諸宗教対話センター）で活動しています。また国際的共同体として、日本人、イタリア人、メキシコ人の姉妹が共に司牧活動、保育園児の教育（和泉・宮崎）、受刑者のケア（和歌山）、外国人のケア（梅田・大阪）、諸宗教間対話（福岡）などに従事しています。マリア・デ・ジョルジ, mmx

※マードレ・チェレスティーナ・ボッテゴの伝記『行って私の兄弟たちに言いなさい』（マリア・デ・ジョルジ著・園田善昭訳、聖母の騎士社発行）は、マリア布教修道女会の HP (<https://www.saveriane.it/ja/>) に電子版があり、右記 QRコードよりお読みになれます。



2 月 23 日（日）、大名町教会にて miniFYCC（FYCC 福岡ユースカトリックキャンプ）を開催し、レクリエーションや祈りの時間を通してそれぞれの絆や平和への想いを深めた。

今回は中高生だけでなく、小学 6 年生も参加対象とし、中高生 20 人、青年、司祭、修道者を含めると約 40 人の集いから私たちは祈るのだ」と話されたことが心に響いた。



約 40 人の若者が交流した miniFYCC

となった。外国語グループからも参加があり、グローバルな交流が見られた。レクリエーションでは班対抗戦を行い、体力、知力が共に必要なものとなったが、体も脳もフル活用し、かなり拮抗した戦いで盛り上がった。集いの最後には平和を願った。当日の福音箇所朗読の後、アベイヤ司教様は「人をゆるしなさいと教わるが、ゆるすのは簡単ではない、だから私たちは祈るのだ」と話されたことが心に響いた。

春の「miniFYCC」開催

次も参加したい！

今回の miniFYCC に参加して、僕が楽しいと思ったことが二つあります。一つ目はオセロのゲームです。「このゲームを考えた人は天才だ！」と思ったぐらい楽しかったからです。そして二つ目は、曲のサビを聴いて曲のタイトルを当てるゲームです。思ったより難しく苦戦したけど、チーム



今日の分かち合いでの想いを共同祈願に込めて

熊本地区宣教科牧評議会主催
「障がい者」をテーマにした素敵な勉強会

2 月 11 日（火・祝）、熊本の手取教会（主任・櫻井尚明神父）で障がい者についての研修会が行われた。現在、福岡教区の年間テーマは「交わりの教会になる」で、司牧プログラムもこれをモットーとしていて、教会に来る障がい者が非常に少ないことに注目し、このテーマを取り上げた。

午前は 3 人の信者が自分の体験を語った。1 人目は、何十年もの間、妻のアルツハイマー病といかに共存してきたかを紹介し、2 人目は、視力を徐々に失いつつある人が、体験談を通して、自分自身と周りの人々にもたらす全てのことにについて話した。3 人目は、突然目が見えなくなった若い父親が、最も暗闇を体験し、命がけの信仰からもたらされる光を発見する話で、それぞれの感動的な体験は皆の注目を集めた。そして食事の後、午後のセッションでは、70 人以上の参加者が 11 のグループに分かれ、3 つの質問を沈黙のうちに折ってから、その答

で力を合わせて取り組めました。最初は miniFYCC に参加しても何もしたくないと思っていました。けれども、一度やってみたらとても楽しかったです。だから、次も miniFYCC があったら参加したいと思いました。そして、何よりも他の教会の人たちと遊ぶことができてとても嬉しかったです。

高木守（小 6 大名町教会）



マルセル神父のように隣人を愛していく
（ユウスケさん 手前）

僕が洗礼を受けさせて貰ったのは、鳥取ダルク（※）でプログラムのを受けている時に、神様に力を借りて依存症と向き合っていたけれど、僕が、先行く仲間のアドバイスもあつたからでした。その後、回復の場を九州ダルクに移してからも、神の意思を行っていく大切さを改めて感じる中で、マルセル

マルセル神父様と
スープの会に参加して

えを分かち合った。その後、各自が大事にしたいことを書き出して祈りを作り、感謝のミサで一日が終わった。作られた祈りは当日一部だけが読み上げられ、読み上げられなかった祈りはそれぞれの教会で「共同祈願」の時に祈るようにとの呼びかけがあった。体験談を語った方たちからは、不安の中にあつても真の

愛の力と信仰から生まれる前向きな姿勢やエネルギー、さらに主の希望に生きる喜びが伝わってくる。良い体験ができた美しい一日だった。今日（こんにち）、障がい者と共に歩むことはイエス・キリストの福音を具体的に生き、証しすることであると確認した。ダ・ロイト・シルバノ神父（菊池・山鹿教会主任）

3.11 を忘れない
東日本大震災から 14 年。3 月 11 日、日本中が鎮魂と大規模災害からの教訓を胸に刻むこの日、カトリック大名町教会でも、「3・11 を忘れない～チャリティーコンサート」が開かれた。これは、震災の翌日 3 月 12 日に起こった福島原発事故により避難を余儀なくされ、九州で生活している方たちに向け支援を行うグループ（後援：福岡教区社会福音化委員会 正義と平和・人権部門）によるもので、避難者も含め 100 人ほどが集った。

出演者は多彩で、いわき市で被災し、福岡に避難しているプロテストの金本友孝牧師は、ロック音楽でビートルズナンバーやゴスペルを披露し会場を魅了。また、沖縄民謡を福岡で広めるために教室や活動を行っている西山知華子民謡研究所のメンバーは、沖縄の民族楽器「三線」を奏で、参加者が良く知る曲が多かったこともあり、会場は「アイヤ、イヤーサーサー」の掛け声や、手を振る踊りで盛り上がり、沖縄の美しい海辺にいるような気分を味わった。最後は、歌手活動の傍ら、福島支援のために、日本中をボランティア講演でも巡る山田那奈子氏が、持ち前のパワフルな歌声でブラックミュージックやオリジナルの歌を熱唱。また巧みなトークで会場を一つにまとめ、盛況のうちにフィナーレとなった。この日の献金は全て避難者に贈られた。

参加した避難者たちは感謝の意を表していたが、それ以上に出演者たちが、今日のこの時間に演奏できることに感謝の気持ちを伝えていたことが印象的で、それぞれに、今後も一丸となって進んでいくための鋭気が養われた時間ともなっていた。

原発事故から 14 年が経ち、原発の再稼働や汚染水、処理施設問題などが山積み半面、人々の関心は薄れているようにも思える。金本牧師の「決して楽観的には考えられないが、（ビートルズの曲）『レットイットビー』（なすがままに）の気持ちで歩んできます」という言葉に、それでも何かできること、できていないことがあるのではないかと自身に問うた。



三線の独特な音色に魅了されて

☆信じる力

齋藤 孝（著）



「どんなに迷っていても、一歩踏み出せば違う景色が見えてきます。この一歩に大きな意味があると信じて、足前に出す。これが信じる力であり、生きる力だと思おうのです。」

自分の中の「信じる力」を呼び覚まし、育んでいくためにどうしたらよいのか。古今東西の偉人や身近な例、心の健康法、東洋の瞑想法など、本来もろい心を鍛える修行の数々等を紹介しています。

女子パウロ会発行
税込価格 1430 円

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る

株式会社
みこころ舎

問合せ
050-3032-1333

※「DARC（ダルク）」は、薬物依存症者の回復や社会復帰を支援し、その家族・関係者に対して啓発活動を行う。またそれらの事業を通じ、健全な社会生活と地域社会の福祉増進を図ることによって、人類の平和に寄与することを目的とする NPO 法人。

年間目標

互いに支え合う
交わりの教会となる福岡教区の神学生紹介
神学生のためにどうぞお祈りくださいヨゼフ・ヴォー・ター・フォン
1996.8.28 生ベトナム・ビン教区
出身
ベトナム・ビン神学
校 哲学科 2年ヨゼフ・ゲン・グアン・ティ
2001.3.13 生ベトナム・バンメト
ト教区出身
ベトナム・ビン神学
校 予科 2年

※各QRコードから、彼らを紹介した過去記事をご覧いただけます。

福岡教区ハンドブック 2025

「福岡教区ハンドブック 2025」は、5月上旬頃
発送予定です。各小教区でお受け取りの上、ご
活用ください。

お詫びと訂正

教区報 3月号 1面 祝・司祭叙階
ヨゼフ・アベイヤ司教 所属修道会名
×聖クラレチアン宣教会 ⇒ ○クラレチアン宣教会
訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

九州ダルク 30周年



<記念フォーラム>

日時：4月26日(土)
13:00より
場所：クローバープラザ
クローバーホール
(福岡県春日市原町 3-1-7)

※神学・哲学講座

旧カトリック神学院より
神学・哲学講座・黙想会のお知らせ

- 【神学・哲学講座「パウロの霊性を垣間見る」】
4月から毎週水曜日 19時より開講予定
- 【初金一泊黙想会】
5月から第一金曜日の16時30分より
一泊黙想会を開催予定。

※詳細は
下記QR
コードから※関心のある方は、旧カトリック神学
院の大山悟神父までご連絡ください。
【問合せ先】旧カトリック神学院
☎092・871・4943

西原村 2025 棚田オーナー制度のご案内

2016年4月の熊本地震以来、つながり続けてきた
西原村より今年も棚田オーナー制度の案内が届きま
した。一つの田んぼを舞台に、西原村の農家の方々と
協力して、田植えやサツマイモ、落花生の作付けを行
い、秋には収穫を体験する参加型、体験型
のオーナー制度です。※詳細は教区ホームページ、または
右記QRコードからご確認ください。

— 召命を共に祈る会 —

福岡地区 4月16日(水) 15時～大名町教会
(※聖香油ミサにそれぞれ参加)
【問合せ先】☎092・921・4532 山口

北九州地区 4月12日(土) 14時～ 小倉教会
【問合せ先】☎0949・24・9905 藤井

熊本地区 4月24日(木) 9時30分～ 健軍教会
【問合せ先】☎096・369・8896 松上

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホーム
ページ「教区報4月号」、または
右記QRコードからご確認ください。福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

4月のこよみ

福岡教区創立 100 周年に向けて
かつどう・できごとと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027年7月16日まで
あと 27 ヶ月スタンプを押した
大名町教会のページ— 8つの巡礼指定教会 —
カテドラルの聖年の扉が開きまし
た。希望の巡礼を始めませんか。
スタンプノートも忘れずに。その1. カテドラル大名町教会
福岡市の中心地、天神に位置する教
会。勝利の聖母に希望を託して。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：希望の巡礼者
日 時：4月10日(木) 10時～15時
内 容：「希望」と信仰
希望はイエスのご復活に基づく信仰の実り
次 回：5月8日(木)
内 容：「希望」と愛 希望は神の愛に基づいています
※2025年から、指導はチームで行われます。
問い合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

■美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食
事と衣類
毎週火曜日 10時
ホームレス支援炊き出し
調理 第二・第四金曜日
夜回り 21時
路上からアパートに入居し

た方を訪問 第3土曜日 14時
【問合せ先】☎092・431・
1419 コース・マルセル神父
■大濠カトリック会館・宣教
養成センター
○ミニアサロン大濠
第1・第3水曜日 10時
【問合せ先】☎092・753・
6765 角田
○みことばのお弁当 202
5年度メニュー「詩編第2集」
第4木曜日 10時

【問合せ先】☎092・753・
6765 大濠カトリック会館
■宣教養成委員会「黙想と
祈りの集い」テゼの歌と共に
ろうそくを見つめ、短い歌
を繰り返し、静かに黙想する
時間を過ごしませんか？
【日時】4月25日(金) 19時30
分～約1時間(場所) 大名町
教会小聖堂
【問合せ先】☎080・32
27・8295(仙)

編集後記
教区ホームページには「お
問合わせフォーム」があり、ミ
サ時間や洗礼・結婚について
などの他「未信者でもミサに
参加できますか」や悩み事な
ど、さまざまな声が届きます。
そこに先日、「教会の鐘の
音」について問合せがあり、
素敵な分かち合いとなりました。
続きは次号で！(W)

Nagasaki Journey and Living the Faith in Japan.
Sergio Leonard (Indonesia)

Like many other people, I first heard about Nagasaki when I was a kid, watching and listening to various documentaries about the atomic bomb. I did not think much of it then, other than how it scared the world deeply, and how precarious people's lives were at the time. Even today, I am still astounded as to the long history of Nagasaki. How it went from a trading post in isolationist era Japan, and then in more contemporary history, how it became a city infamous for its tragedy, and its pursuit for world peace and nuclear disarmament ever since.

Fast forward to 2016, I watched Silence, a film by Martin Scorsese that deeply moved me. Its depiction of the persistence and transformation of faith was a topic that took center stage in the movie. The film's impact led me to read the original novel by Shusaku Endo in English, just to reexperience that more deeply than before. Though a work of fiction, its setting, characters, and exploration of faith closely reflect the real experiences of the many hidden Christians and their descendants who lived—and still live—in Nagasaki.

Never would I have imagined the surprise that I would be invited to retrace the steps of those people who were depicted in the movie all those years back. Never, would I imagine that I could partake, even just for a little bit, in the pilgrimage that they endured, knowing that it will lead them to their death.

Out of those thousands persecuted during the long years of Japanese ban on Christianity, 26 of them were especially chosen to be the martyrs that we see as statues at Nishizaka Park. When I first visited that site in March 2021, I did not know that there were thousands just like them that died for their faith in that same exact spot, nor that I will participate in their requiem mass 4 years later. As I learned, every year, we commemorate their sacrifice, and what they have done, sowing the seeds and being a witness to Christianity in the Far East.

(...continued)



Celebrating the Feast of the Sacred Heart of Jesus, 2022.

全文と
日本語訳は
右記から→Full text
and Japanese translation
available via QR codeNagasaki Spaghetti
長崎スパゲッティ
Since 1983株式会社サンフリード・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611右記URLから
ご注文できます

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談
ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00